

2021年12月13日

防衛大臣 岸 信夫 殿
百里基地司令空将補 石村 尚久 殿

百里基地での日米共同訓練の即時中止を求めます

本日12月13日～17日までの日程で、航空自衛隊百里基地での日米共同訓練が計画されています。米軍再編に伴う百里基地での日米共同訓練の実施は今回で10回目であり、訓練規模では今回で6回目となるタイプⅡの計画の中でも米軍側の参加規模は170名程度であり、過去最大のものとなっています。

日米共同訓練は、「専守防衛」を踏み超え、アメリカの世界戦略のもとに日米軍事一体化を図り、集団的自衛権行使を準備するものです。日米共同訓練実施は、そのものがアジアに軍事的な緊張をもたらすものであり、即刻中止すべきです。

近年、国内での日米共同軍事演習が増加する中で、米軍機の緊急着陸、部品落下事故などが頻繁に発生しています。先月30日にも三沢基地所属の米空軍 F16 戦闘機が、青森空港に緊急着陸する前に燃料タンク 2 個を投棄し、1 個を住宅街に落としました。もし人家に落下した場合は人命に関わる大惨事にもつながりました。

百里基地周辺住民も落下物事故等の危険にさらされています。さらに日米共同訓練に伴う米兵の外出が行われるなら沖縄等の前例にある事件・事故の発生等が懸念され、安全に関わる地元負担や不安が今まで以上に増大します。このような事態は絶対に引き起こしてはなりません。

爆音被害では、通常の自衛隊訓練でも爆音で「会話ができない」という状況にあり、小美玉市も市議会と一体で「騒音を減らしてほしい」という要望書を何度も提出しています。日米共同訓練が実施されれば、さらに爆音被害による住民負担が増大されることになり、これ以上の基地負担は許すことができません。

つきましては、日米共同訓練の実施に対して、下記の申入れを行います。

記

- 一、日米共同訓練を中止すること。
- 一、「日米ロードマップ」の見直しを図り、基地周辺住民の負担を減少させること。

申入れ団体： 百里基地反対連絡協議会

百里基地反対同盟

百里弁護団

農民運動茨城県連絡会

茨城県平和委員会

茨城平和擁護県民会議

社民党茨城県連合

日本共産党茨城県委員会

新社会党茨城県本部